

# 〔令和元年度〕振興公社決算報告

6月の定例議会において、(株)相生振興公社と(株)津別町振興公社の令和元年度決算が報告されました。これらの公社は、町が出資しているもので、地方自治法の規定によって事業報告と決算書の提出が義務付けられています。今回、両公社から報告があった概要をお知らせします。

## 相生振興公社

### 〈事業報告〉

主事業である「相生物産館」の営業を中心に19年目を迎えました。平成30年度、過去最高の売り上げとなりましたが、令和元年度は減少いたしました。要因としては、10月の消費増税による消費者マインドの低下や、本年1月からは、新型コロナウイルスによる営業・外出の自粛の影響によるものです。



相生振興公社損益計算書 単位：千円  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

収入の部	
店舗販売事業収入	117,864
公共施設管理事業収入	6,306
事業外収入	1,218
収入合計	125,388
支出の部	
店舗販売事業原価	94,476
公共施設管理事業原価	5,790
一般管理費	22,162
雑損失	0
支出合計	122,428
税引前当期利益	2,960
法人税等充当額	692
当期利益	2,268

しかし、平成28年にクマヤキがテレビ等に取り上げられて以降、人気が続いており、クマヤキを購入するため訪れる方が多く、立ち寄り拠点から目的地として道の駅あいおいが認知され、売り上げが伸びております。このことなどにより、厳しい状況の中ではありますが利益を残すことができました。

税引前当期利益296万円、法人税等充当額69万2千円を差し引き、当期利益226万8千円という結果となりました。

## 津別町振興公社

### 〈事業報告〉

受託事業については、日常清掃業務8施設、特別清掃業務10施設、施設管理業務10施設、公園管理業務6施設、公衆浴場管理業務1施設は、当初の計画どおり事業を行いました。新型コロナウイルスの影響により、3月分の受託業務の一部に休業要請があり、3月分の受託料が減収となりました。また、今年度は12月末まで降雪がなく、スキー場コース整備業務は減収となりました。除雪請負業務については、出勤回数が例年より減りましたが、新規に除雪箇所が増えたことにより、当初計画より増収となりました。



津別町振興公社損益計算書 単位：千円  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

収入の部	
清掃管理事業収入	145,367
グレステンスキー事業収入	2,131
事業外収入	280
特別利益	0
収入合計	147,778
支出の部	
清掃管理事業原価	116,348
グレステンスキー事業原価	1,644
一般管理費	28,528
特別損失	0
支出合計	146,520
税引前当期利益	1,258
法人税充当額	766
当期利益	492

津別21世紀の森キャンプ場は、5月10日まで毎日利用可能とし、日帰り利用者507人(前年度486人)、宿泊利用者1677人(前年度1637人)と昨年度を若干上回る実績となりました。

また、これらの業務を行うにあたり常勤職員、パート職員、臨時職員、季節職員の職員総数55人の人員体制で業務を行いました。

## 地方創生の取り組み 33

### 長期的な成功を目指して

地方創生においては、人口減少対策等を目的に行うプロジェクトに対して、①その目指す数値目標を設定し計画を立て、②その計画に従いプロジェクトを実行し、③その実行結果を評価・分析し、④評価結果を基に改善策を考え再び計画を立てる、という①から④の工程を繰り返すことが求められています。

### 令和元年度の地方創生事業振り返り

平成27年度に策定した津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、中長期的な人口減少対策としての施策や事業を盛り込んだ戦略を定めています。これに沿った形で地方創生事業を展開していますが、今回は令和元年度における事業について、大まかに振り返ってみたいと思います。

地方創生に関しては、主に国からの交付金で実施している事業があり、複数の事業を並行して実施しています。一つ目は「まちの賑わい創出事業」ですが、昨年度の大きな取組に、まちづくり会社に係る事業がありました。平成29年度からの継続事業として、統括マネージャーの募集・着任から始まり様々な準備を経て平成30年度末に設立し、昨年度より本格稼働となりました。町からの受託事業として、ふるさと納税や移住定住窓口に係る業務を実施し、その中で関係人口拡大の取組として、移住希望者と自治体・企業を結び付ける「北海道移住ドフラフト会

議」等へのイベントにも参加しました。町内施設や空き家バンク等と連携することで移住促進の幅が広がっています。

会社独自の事業としては、町内事業者と連携した特産品開発やそのPRのためのフードイベント等を実施してきました。

いずれの事業においても評価と分析をこまめに実施し、成果と反省点を次へと活かしながら、令和3年度以降の自走運営に向けて取り組んでいます。

続いて生活困窮者等の働く場創出事業ですが、㈱びーとの事業として引きこもり者やその家族が外に出るきっかけや、引きこもり等への認識を深める取組として、船橋市で福祉事業を営む山田賢明氏による講演ライブを実施してきました。

再エネ活用推進事業では、主事業となる木質バイオマスセンターについて検討し、組織運営や町内のエネルギー利用における業務整理を実施してきました。

次に移住・起業・空き家等活用促進事業の取り組みでは、平成30年度のコーワーキングスペース開設に引き続

き、道東エリアリノベーションプロジェクトにおけるパイロット事業として、ゲストハウスの完成に向けた一般参加型のリノベーションワークショップを17回にわたり実施し、町内外より延べ500名以上に参加いただきました。結果、3月に施設完成・オープンに至ったところです。

別の財源を活用する事業となりますが、大学生との連携事業が4年目を迎え、北大学生と津別高校生の連携事業をメインとして実施し、大学生が高校生の自主性を引き出すワークショップを通じて、各々のテーマに沿った活動を展開してきました。

することはできませんので、詳細については津別町HP内の総合戦略事業評価報告をご覧ください。

[http://www.town.tsubetsuhokkaido.jp/20machizukuri/40keikaku/tsubetsu\\_comprehensive\\_strategy.html](http://www.town.tsubetsuhokkaido.jp/20machizukuri/40keikaku/tsubetsu_comprehensive_strategy.html)

QRコードが読み込める機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。

問い合わせ先  
住民企画課企画係  
〒76-2151(内線241)  
e-mail: tsubetsusei@gmail.com

《津別町空家バンクの利用状況》 ※5月末現在

・登録物件数		
建物	貸したい	7件
	売りたい	10件
土地	貸したい	0件
	売りたい	13件
・物件を探している登録者数		
建物	借りたい	23名
	買いたい	28名
土地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。  
<https://www.tsubetsu-estate.com/>

【問い合わせ先】  
北海道つべつまちづくり株式会社  
移住・定住サポートデスク ☎77-6081